



二足のわらじ — 自己の進路実現と「憧れの眼差しを受け続ける」立場
— 自分の成長（個別最適）& 仲間の成長（協動的な学び）

第9学年主任 佐藤 輝和

こころ



MIGAKI

当たり前を見つめる — 有り難さに気づく、奇跡のストーリー —

「特別な時間を ありがとう」



< 3月9日（土）卒業式 >

「どんな困難にも立ち向かう」2023年に開校した義務教育学校で卒業式 一期生が学び舎巣立つ 宮城・大崎市



【東北放送 3月9日（土）12:09 配信】

9年生が卒業、去年開校した大崎市初の義務教育校（宮城）

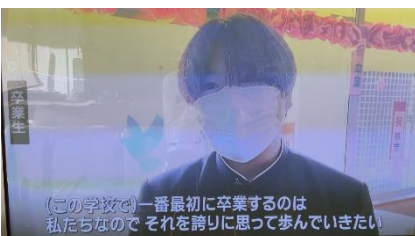
2024年3月9日 17:48



【ミヤテレ NEWS NNN 3月9日 17:48 配信】



【tbc ニュース 3月9日 20:54 頃放送】



東北放送（放送）

（この学校の）一番最初に卒業するのは私たちなのでそれを誇りに思っています。



東北放送（放送）

本当に感謝の気持ちでいっぱい



卒業生

中学校生活で学んだ事を生かして 高校でも将来のためにも頑張っていきたい

ミヤテレ（放送&配信）



9年生初の巣立ち 大崎・古川西小中

昨年4月に大崎市初の義務教育学校として開校した古川西小中（児童生徒342人）の卒業式が9日あり、初の卒業生となる9年生40人の門出を祝った。

保護者や教職員、来賓と5～8年生約160人も出席。笹川清治校長は「初の義務教育学校で後輩に範を示してくれた。自分を大切に自分だけの花を咲かせてほしい」と激励した。

初代生徒会長の千葉南弥さん（15）は、小学生への水泳指導など最高学年としての経験や、教職員や保護者への感謝を述べながら「ここで育んだ心を見失わずに困難に立ち向か

い、感謝を忘れずに人生を歩んでいく」と答辞を述べた。卒業生は最後に校歌や合唱曲を歌い、前身の古川西中から3年間を過ごした学びやに別れを告げた。

3年間の思い出を込めて歌う卒業生

に歩む



【令和6年3月10日 河北新報】

